

ほ☆ら☆り☆す 通信



R.3.1 2.1 5 (水)
学校運営協議会広報部

いじめ問題解決に向けた教育懇談会 開催

11月19日(金)に、「北連携型小中一貫校いじめ問題解決に向けた教育懇談会」を北中にて開催しました。日頃より地域を支えてくださっている区長会、民生児童委員、更生保護女性会、子育て連、3校PTA、教職員、地域学校協働活動推進員、コーディネーターの皆さんにご参加いただき、下記1～3の三部構成で開催しました。主催の学校運営協議会委員と併せて70名による懇談会には、田中教育長様をはじめ藤岡市教育委員会の皆様、コミュニティ・スクール連絡協議会事務局長様、西部教育事務所社会教育主事様のご臨席を賜りました。



左：藤岡市教委 田中 政文 教育長様
右：学校運営協議会 岩崎 哲 会長

1 いじめ問題解決に向けた一貫校としての取組の説明

(1) いじめの未然防止

○一人一人を大切に、学ぶ楽しさ・わかる授業を実践し、自己決定・自己存在感、共感的人間関係を育む。【かしこく】

○「スマイルハイタッチあいさつ運動」や「はあとふるツリー活動(よいところみつけ)」など、児童会・生徒会活動を核とした子ども主体の学校づくりに取り組み、課題解決に向けて改善しようとする態度を育てる。【心ゆたかに】

○「SOSの出し方講座」「情報モラル教室」「人権集中学習」などを通して、心の健康保持を図る。

(2) いじめの早期発見

○日常のかかわりや相談活動、生活ノートの点検を大事にし、定期的に生活アンケートを実施。【たくましく】

(3) いじめへの対応

○事実を確認し、対応策を協議し、関係機関とも連携して組織で取り組む。



◇ Hi!「コミュ」と申します。 No.6 ◇

こんにちは。コミュです。	
6回目の登場だから覚えてくれたかな?	
前回、コミュのいる北中校区の「コミュニティ・スクール」には学校運営協議会、っていうのがあるって話したの覚えて?	
わ、忘れちゃった～?実は、学校運営協議会をコミュニティ・スクールの「右手」とすると、「左手」があるんです。その「左手」ってなんだ?	
① 地域学校共同組合	② 地域学校△□※☆後援会
③ 地域学校協働本部	
なんだか漢字ばかりでむずかしすぎ!北中校区にはもっとやさしい名前があるんです。さて、聞いたことあるよね。どれだ?	
① ログハウス	② セカンドハウス
③ コミュニティ・ハウス	④ ホワイトハウス
⑤ ビニールハウス	正解は両方とももちろん ③。
★北中、第二小、神流小のホームページの「コミュニティ・スクール」を聞いてみてね!!	

2 講演『悩みを抱える子どもたち』

【講師】北中学校スクールカウンセラー 吉原 隆志 様

【内容】

○子どもたちの悩みの現状について

○周囲の大人たちのかかわり方について

- ・子どもの気持ちに寄り添い、共感的に受けとめる。
- ・子どもと一緒にいることを楽しみ、一緒に行動する。(週末の小パーティーなど)
- ・不安を軽減して立ち直る力をつける。(悩みを聞く、積極的な活動を増やすなど)
- ・家庭、社会、学校に子どもが安心できる居場所をつくる。 他



※裏面には、懇談会(グループ協議)の記録、参加者の感想を掲載しています。ご覧ください。

【問い合わせ先】

藤岡市立北中学校 学校運営協議会広報部
☎ 22-1352 FAX 22-1353

3 懇談会（グループ協議）

【テーマ】いじめのない安心できる地域社会をつくるために

参加された皆さんが9班に分かれ、上記のテーマについて、1・2部を踏まえて思いや考えを話し合いました。話し合いでは、主に次のような声が聞かれました。

“地域で子どもを育てる”意識を高め、人と人が繋がり、 安心・安全に生活できる地域づくりが大切！

地域

- ☆ “地域で子どもを育てる”意識を高めたい。
- ☆ いろいろな大人が関われるようになるとよい。
- ☆ 地域に第3の居場所をつくれるとよい。

家庭

- ☆ 日常の親子の会話が少なくなってきたことを反省。
- ☆ 親子の“三行日記”を始めよう。
- ☆ 子どもの成長を長い目で見る心をもとう。

学校

- ☆ 子どものSOSに気付き、素早い対応を。
- ☆ 小中連携のさらなるシステムづくりを。



<教育懇談会の感想・ご意見>

- ◇ 地域のいろいろな年代、立場の方々と考えを交換したり共有したりすることができる場があることを、素晴らしいと思いました。
- ◇ 校長先生の説明から、一貫校として、地域との連携をもとにした教育がなされていることが分かり、子どもたちの自主性の成長に大きくプラスになっていると思いました。まずは、家庭で思いやりや感謝の心を育て、周囲の方々と協力し合っていきたいと思います。
- ◇ カウンセラーさんの講演を聞き、変化の著しい現代社会の中で、昔のままの考えや価値観でいたのでは成り立たない、自分も変わっていく必要があると感じた。家庭内でも友人や社会でも、譲り合い、認め合い、尊重し合う生活をしなければ、と改めて思った。誰もが当事者となり得る中、問題解決のヒントをいただいた。
- ◇ 家庭を居心地良くし、心身のエネルギーを満たすことができれば、社会に出ても周囲の人に優しく大らかに接していけると思います。まずは、親の生活態度を見直したいと思いました。
- ◇ 子どもと一緒に楽しめる時間を大切にしたいです。相談しやすい親子関係を築くとともに、子どもに考えて行動する機会を与えて見守り、自立を促すことも大切であると思いました。親自身にも相談できる場をつくるのが大切と思いました。



- ◇ 子どもたちの問題は、まさに大人たちの問題であると思います。これからも多くの方々と意見を交わし、子どもたちが「ここで育って楽しかった」といえる地域社会にしていきたいです。

* たくさんの感想・ご意見をいただき、ありがとうございました。
紙面の都合上、全てを掲載できず申し訳ありません。